

# 小学生と大学生との交流授業

田代裕一

Collaborative Learning of Primary School Pupils and University Students

Yuichi Tashiro

## 1. 交流授業に至る経緯

私が担当している児童教育学科での教職に関する科目「教育の内容と方法」(小学校教諭免許の必修科目)では、科目の受講生と福岡市立百道小学校6年生との交流や協働を目的とした授業を、講義の最終回に行うことにした。このような授業を行うことになったきっかけは、2003年11月21日に本講義で、百道小学校の児童と大学生との合同授業を行ったことによる。このときは百道小学校の方から、小学校6年生の「総合的な学習」の一環として大学訪問をして講義を体験したいとの要望があったので、大学生と一緒に小学生が合同で本講義(このときは、「特別活動」の歴史と現状・課題がテーマであった)を受講したのである。その際も、大学生や小学生のスピーチ、保護者の感想など、自分の意見や考えを発表する活動を取り入れたのであるが、「もっと小学生と話をして、じっくり交流したい」という要望が、受講の大学生から数多く出た。そこで、百道小学校の6年担任の増田健太郎教諭(当時、現九州共立大学)に相談し、百道小学校から交流授業の了解を得ることができた。また、実施は正月明けになるので、「新春夢交換会」というタイトルで手作りの名刺交換や、ゲームをしてみようか、というアイデアを増田教諭から出して頂いた。これは、百道小学校6年生が「マイドリームプラン・イン・百道」という、自分の夢について考えていく「総合的な学習」を行っていることに関連している。

このような次第で、小学生と大学生の交流を目的とした授業が実現することになった。そして、その際に私のゼミ(演習Ⅰ)所属の大学3年生8名に学生サポーターとして、

本活動の具体的な実施計画の作成や、小学校との打ち合わせ、会の準備・進行・補助などを担当してもらうことにした。これは、このような大掛かりな授業の指導はチームで行うことが必要であるし、またゼミ生は全員小学校の教師を志望しているので、教育実践の体験的理解(計画づくり、指導、経営活動、などの理解)として意義があると考えたからである。ちなみに田代ゼミの学生は、2003年6月からSSL(スクールサポートラーニング)というサポート活動を、百道小学校で恒常的・日常的に行っている。以下、本稿では、この交流授業の教職教育としての意義や課題について、実践記録や事後のアンケートをもとにみていく。

## 2. 交流授業の実際

参加者：福岡市立百道小学校6年生103名・西南学院大学文学部児童教育学科「教育の内容と方法」受講生(2年生以上)121名

日時：2004年1月16日 3限目(午後1時—2時30分)

場所：百道小学校体育館

以下はこの授業での発言・活動の記録である。授業は児童の代表と学生サポーターが中心となって進めている。発言者の右側の番号は発言順の記録番号である。この授業はゼミの4年生がビデオで録画し、田代が文書記録化した。

児童A1 並んで下さい。(児童に向けて)水曜日に習ったように並んで下さい。

(6年生担当のM先生がAにアドバイス)

…略…

児童A2 カードを持っている人は後ろを向いて立って見せて下さい。学生さんたちに連絡します。自分の班の右横に座って下さい。横に移動して下さい。もう一度お願いします。学生さんたちは自分の班の右横に座って下さい。自分の班の右横に座って下さい。自分の場所がわかったら、すわって下さい。

児童A3 学生さんがそろった班は、すわって下さい。カードをもっている人は座って下さい。

児童A4 今から西南学院大学の学生さんとの交流会を始めます。まず初めに実行委員のBさんに初めの言葉をいってもらいます。

児童B5 西南学院大学の皆さん、こんにちは。

学生6 こんにちは。

児童B7 今日は百道小に来て頂き、ありがとうございます。今日の総合学習ではいつもお世話になっている学生さんと前より親しくなるため、そして学生さんたちが自分の夢をかなえるためにどんな努力をしているか、何をすればよいのか教えてもらうためにあります。皆さんこの交流会を楽しんでいって下さい。これで終わります。

学生・児童8 (拍手)

児童B9 それで次に各班にわかれて交流、自己紹介と名刺交換をしてもらいます。

学生C (学生サポーター・男子) 10 グループでの自己紹介の説明をします。今、グループで固まってすわっていると思います。そのグループ内で小学生は大学生と、大学生は小学生と自己紹介をします。紹介のしかたは名前と自己ピーアルと自分の夢をお互いにいって、みんなが作ってきた名刺を交換します (学生Dと交換してみせる)。そして最後に握手をして、またつぎの人と自己紹介をしていって下さい。そして今せまいのでみんな立って全体的に、後ろに下がって、こう、余裕をもたせたいと思うんで、みなさん立って下さい。

学生C11 ここで大体、グループに、円になってもう自己紹介を始めて下さい。時間は10分間なのでスムーズをお願いします。

(自己紹介の活動の一部)

学生a12 西南学院の…。(自分の顔を指さして) 覚えとお? 大学で。

児童b13 納豆と豆腐の…。(11月21日の百道小と西南学院大学との合同授業でこの学生が豆腐と納豆のスピーチをしたことを覚えていた。)

学生a14 そうそうそう。西南学院大学児童教育学科のaといいます。(ダンボールで作った眼鏡のイラストを書いた名刺を見せながら) これ眼鏡がトレードマークだからね。夢はね、今はね学校の先生になりたいなあというのが夢やけど、になりたいなあっちゃうのいろいろあるので。とくいなのはね、スポーツです。スポーツは何でも好きでね、きらいなものは……。今日は一緒に遊びましょうね。お願いします。(名刺を交換して握手する)

…略…

児童c15 こんにちはcです。(あだ名は) マイマイです、かたつむりのマイマイ。自分の夢は、将来の夢は幼稚園の先生か税理士になりたいです。

学生d16 なんてなりたいの?

児童c17 えー幼稚園の先生は私が幼稚園に入った時の先生がすごいかったからだし、子ども好きだからです。税理士は将来のことを考えたら、税理士の方がお金を

儲けれると思って、税理士になりたいです。(名刺を交換する)

…略…

学生e18 よろしくお願いします。(名刺を交換する) 私の名前はeです。今、私は書道部に入っていて、大学から始めたんで、あんまりまだそんなに上手くないけど、新しいことをしていくのが好きなんでこれからもして行きたいです。好きな食べ物はクレープとか作って、猫も飼っているんで、猫と一緒に遊んだり、将来の夢は…。

学生D19 (学生サポーター・女子) あと5分で終了になるので。

…略…

学生D20 じゃあみんな静かにして下さい。後で話し合いの時間があるので、まだ名刺を交換していない人はそこでするようにして下さい。話はやめて下さい。

学生D21 静かにして下さい。次に今からゲームを始めます。今からのゲームはグループ対抗で行います。今日するのはオンリーワン・クイズといって、このクイズはほかの班が書かない答えを考えて、ただ一つの答えになるようにしていくものです。こちらから問題を一間ずつ出していきます。みなさんグループで話し合っ、画用紙とペンが配られていると思うので、そこに大きくみんなにみえるように答えを書いて下さい。制限時間は問題ごとにいっていきます。制限時間の5秒前になったらカウントを数えますので、それまでに答を書き終えて下さい。考える時間が終わったらグループから一人ずつ代表者が書いた自分の書いた答えをもって立って下さい。1組の1班から順番に答えを言っていってもらいます。得点は正解がどこの班ともかぶらなかつたら3点、2グループいっしょだったら2点、あっ間違いましたすいません。1グループいっしょだったら2点、2グループいっしょだったら1点です。それ以上のグループといっしょになった場合は0点です。ゲームに関してなにか質問がある人はいませんか。それではゲームに移りたいと思います。グループで考えて欲しいので、間のグループは少し後ろに下がって話し合いができるように移って下さい。(学生・児童が移動する)

学生D22 皆さんがすわったら問題をいいますので、速く移動して下さい。

学生・児童23 (円になってすわる)

学生D24 いいですか。答えをいいます。書いて下さい。第一問、「さんずい」のつく漢字をひとつ答えて下さい。ただし、小学校6年間で習う漢字に限ります。時間は1分間です。(「ひゃー」という声があがる) よーい、始め。制限時間は1分間です。

(活動の一部 あるグループ)

学生g25 (床に指で字を書きながら) 瀬、瀬。

児童 h 26 潮（しお）。

学生 g 27 しお？あー潮。

学生 j 28 こうやって（指で空中に書く）。習った？

児童 k 29 （うなづく。）

学生 l 30 わからんねえー。

学生 m 31 瀬、瀬？じゃあ潮。

学生 n 32 じゃあ潮で。

児童 o 33 （紙に潮と書く）

…略…

学生 D 34 じゃあ 5、4、3、2、1、0。やめて下さい。グループでだれか一人書いたものをもって立って下さい。全グループ立って下さい

学生 D 35 答え合わせをしていきます。静かにして下さい。静かにして下さい、しゃべるのをやめて下さい。答え合わせができません。すいません、代表者の方、前に出てきて下さい。少し後ろに下がって下さい。1組から順番に並んで下さい。それでは答えを聞いていきたいと思います。

学生 D 36 1組三班は潮（しお）？

1組1班の代表 37 潮です。

学生 C 38 （小学校6年間で）習います。

1組2班の代表 39 1組2班は江です。

1組3班の代表 40 1組3班は活です。

学生 C 41 習います。

1組4班の代表 42 1組4班は瀬です。

1組5班の代表 43 1組5班は漢字の漢です。

1組6班の代表 44 1組6班は激流の激です。

1組7班の代表 45 1組7班は漢字の漢です。

1組8班の代表 46 1組8班は清です。

2組7班の代表 47 2組7班は政治の治です。

2組1班の代表 48 2組1班は湖（みずうみ）です。

2組2班の代表 49 2組2班は演出や演技の演です。

2組3班の代表 50 2組の3班は浅いです。

2組4班の代表 51 2組4班は滋賀県の滋です。

2組5班の代表 52 2組5班は海です。

2組6班の代表 53 2組の6班は激です。

2組8班の代表 54 2組の8班は河野の河です。

3組1班の代表 55 3組の1班は源です。

3組2班の代表 56 3組の2班はようです。（紙を裏返しにしていたので判読できず。

おそらく「洋」か？）

3組3班の代表 57 3組の3班は瀬です。

3組4班の代表 58 3組の4班は海です。

3組5班の代表 59 3組の5班は湖です。

3組6班の代表 60 3組の6班は激です。

3組7班の代表 61 3組の7班は漢です。

3組8班の代表 62 3組の8班は激です。

学生 D 63 得点はあと、次の問題をみんなが解いている間に、点数を前の黒板に丸をおいて書いていくのでそれを見ておいて下さい。

学生 D 64 第2問、日本の歴代総理大臣の中から一人選んで下さい。（「えーっ」という声）制限時間は同じく1分間です。よーい、スタート。

（活動の一部 あるグループ）

児童 p 65 おれたち6年生、知りませんよ。

学生 q 66 はあー、（寺内）まさたけ。

学生 r 67 まさたけやろ（自分の手に指で書く）。

学生 s 68 犬養毅…。あーごめんなさい。

学生 p 69（寺内まさたけと紙に書く）

学生 D 70 5秒前、4、3、2、1、終了です。代表者の人は自分のグループの紙をもって前に出てきて下さい。

学生 D 71 それでは次にまいりたいと思います。

1年1組の代表（学生）72 1年1組は近衛文麿です。

学生 D 73 正解です。

1組2班の代表 74 1組の2班は近衛文麿です。

1組3班の代表 75 1組の3班は森首相です。

1組4班の代表 76 1組4班は海部さん。

1組5班の代表 77 1組5班は佐藤栄作です。

1組6班の代表(学生)78 1組6班は「しではらきじゅうろう」です。(おーっという声)

1組7班の代表79 1組7班は小淵首相です。

1組8班の代表80 1組8班は黒田さんです。

2組1班の代表81 2組1班はよしだしげるです。

2組2班の代表82 2組2班は天皇家出身の「ひがしくにのみや(なるひこ)」さんです。(「うわー」という大声)

2組3班の代表83 2組の3班は橋本さんです。

2組4班の代表84 2組4班は宮沢さんです。

2組5班の代表85 2組5班は佐藤栄作です。

2組6班の代表86 2組6班は羽田つとむさんです。

2組7班の代表87 2組7班は「むらやまとみいち」総理大臣です。

2組8班の代表88 2組8班は森総理大臣です。

3組1班の代表89 3組1班は寺内総理です。

3組2班の代表90 吉田茂です。

3組3班の代表91 3組3班は東条ひできです。

3組4班の代表92 3組4班は羽田つとむさんです

3組5班の代表93 3組5班は山県ありともさんです。

3組6班の代表94 3組6班は(声が小さく、聞き取れない。)

3組7班の代表95 3組7班は吉田茂さんです。

3組8班の代表96 3組8班は(声が小さく、聞き取れない)

学生D97 集計にちょっと時間がかかっているようなので、点数まだ出ていないんですけど、後で書き出すからちょっとお待ち下さい。つづいて第3問目に移ります。第3問目はちょっと今までとルールを変えます。みなさんにこれから好きな教科を書いてもらいたいと思います。それで、私とC君も一緒に好きな教科を書くんですが、私と同じ教科を書いた人には6点(えーっという声)。でC君と同じ教科を書いた人はマイナス3点です。(えーっ)ただし、私の好きな教科というのは小学校時代の好きな教科を答えてもらいます。それでは。よーい、スタート。

(活動の一部 あるグループ)

児童t98 (音楽と書く)

児童u99 もしかしたら体育かも知れん。

児童u100 体育っていったら。

学生w101 Dさんは…。

…略…

学生D102 7、6、5、4、3、2、1、終了です。代表者の方は前に出てきて下さい。…略…

1組7班の代表103 1組7班は社会です。

1組8班の代表104 1組8班は音楽です。

2組1班の代表105 2組1班は国語です。

2組2班の代表106 2組2班は音楽です。

2組3班の代表107 2組3班は音楽です。

2組4班の代表108 2組4班は算数です。

…略…

2組8班の代表109 2組8班は図工です。

…略…

学生C110 残念ながら家庭科です。

学生・児童111 えーっ、だれもおらん。

学生D112 私の好きだった教科は音楽も大好きなんです(「えーっ」という声)、国語です。

学生・児童113 ぎゃーっ(大歓声)。

学生C114 これでゲームを終わります。得点はまだ時間がかかるので次のプログラムにすすみたいと思います。みなさん名刺交換とゲームを通じてグループ内で仲良くなったと思います。そして、次はグループでの話し合いの時間をとって、小学生は大学生に、大学生は小学生に質問をする時間を取りたいと思います。こんなことを聞きたいかなあと思うことをどんどん質問して下さい。時間は10分間とりたいと思って、どんどん質問して下さい。それでは始めて下さい。

(活動の一部 あるグループ)

児童x115(男子) あ、あと男子を投げるんよ(ある女の子をさして)。

児童y116(女子) 違うよ。

児童117(男子複数) 柔道、柔道。痛い。投げてる。つかかっていきようもん。

児童z118 じゃあ(子どもの頃の)遊びは?(学生に聞く)

学生α119 缶けりとかメンコ。

学生 $\beta$ 120 ドッチボールをした。

…略…

学生D121 次のプログラムに移りますのでまだ質問し足りないと思って、今質問しておきたいことは質問しておいて下さい。

…略…

児童 $\alpha$ 122 (男子) 怖い？(ある女子学生をさして)。

学生 $\alpha$ 123 (男子) 怖いよ。怖いといは怖いよ。

学生 $\delta$ 124 (女子) ウソ、怖い私？

児童・学生(男子) 124 怖い。

学生 $\delta$ 125 傷ついたあ、今の(笑いながら)。

グループの学生・児童126 (笑い)

児童 $\varepsilon$ 127 はい、はい、はい。(男子学生を指しながら、クラブに)入っていますか。

学生 $\alpha$ 128 入ってます。サッカー部に。

学生 $\beta$ 129 柔道。

…略…

学生C130 制限時間になりましたのでトークをやめて下さい。で次のプログラムに移りたいと思うので、最初の、さっきのゲームの結果発表をしたいと思います。1位が3チーム並んでいて、2組の5班、3組の2班、3組の5班(「ほおー」という声)です。立って下さい。みなさん拍手をお願いします。

学生・児童131 (拍手)

児童E132 全体のふりかえりを6年生の代表からしてもらいます。あ…。

児童G133 今日は西南大学の人たちとゲームをしたり、お話をしたりして、色んなことがわかったのが楽しかったです。もっと、こういうことをしたいと思いました。

児童・学生134 (拍手)

児童H135 今日は西南学院大学の人たちと一緒にゲームや名刺交換、話し合いなどをして交流することができました。今日は楽しかったです。卒業までのいい思い出になります。今日はありがとうございます。

児童・学生136 (拍手)

児童E137 最後に終わりの言葉を実行委員にしてもらいます。

児童F138 今日はゲームや…。

学生D139 あ、(ごめんなさいの合図をしながら)それでは大学生の方からも感想を言っ

てもらいたいと思います。だれか今日の感想を言って下さい。

学生140 (手をあげる)。

学生141 えーと前に百道小学校とは講義に、田代先生の講義で来て頂いて、お会いしていたんですけど、今日、百道小の方に来てみて、小学校の皆さんと仲良く、楽しくすごすことができました。えっと、今日の経験で小学校の先生になりたいなという気持ちが強まったんで、これからがんばっていきたいなと思います。今日はありがとうございます。

児童・学生142 (拍手)

学生D143 他に今日の感想を言って下さる方。

学生144 (2名手をあげる。というか横の小学生に手をあげさせられている。)

学生145 えっと今日はたくさんの方の小学生たちと楽しくやれたので、楽しかったです。まさか今の小学生とドラゴンボールの話ができるとは思いませんでした。ありがとうございました。

児童・学生146 (拍手)

学生D147 もう一人いってもらいたいと思います。

学生148 もう今日は時間がすぎるのがすごく速くて、本当に楽しい時間を持つことができました。ほんとにみんな今日初めて会ったのに、初めて会ったという気がなくて、どうもありがとうございました。

児童・学生149 (拍手)

学生C150 最後に終わりのことばに移る前に皆さんにお願いがあるんですが、名刺はお互いに絶対落とさないようにしておいて下さい。大切にしておいて下さい。では終わりのことばに移ります。

児童F151 今日はゲームや名刺交換など楽しい時間を持つことができました。西南学院大学の皆さんには5月頃から、主に総合学習でお世話になりました。今日は本当にわざわざ百道小学校においで頂きまして、ありがとうございました。

児童・学生152 (拍手)

### 3. 学生へのアンケート結果

この活動について、次のアンケートをとった(1月16日の授業終了直後に実施 回答者数118名)。それは、「この活動について、以下の5段階(1. 全くそう思わない 2. ややそう思わない 3. どちらともいえない 4. 少しそう思う 5. 全くそう

思う) から一つ選んで丸をつけて下さい」というもので、各項目の集計平均値は次の通りであった。満点は5点。

- |                              |         |
|------------------------------|---------|
| ①この活動は子ども理解の上で意義があった。        | … 4. 51 |
| ②この活動で子どもとコミュニケーションすることができた。 | … 4. 49 |
| ③この活動で子どもと楽しく遊ぶことができた。       | … 4. 67 |
| ④この活動で総合的な学習を実感的に理解できた。      | … 4. 20 |
| ⑤教職のための準備として意義のある活動だと思う。     | … 4. 53 |
| ⑥機会があったらまたこのような交流活動をしてみたい。   | … 4. 84 |

この活動について気に入った点、不満な点、希望することなど、ありましたら、自由に記述して下さい。

このアンケートの自由記述には様々なものがあつたが、大体、内容ごとに下記のように分類できた。

**(意義の確認・発見 19件)**

- ・こういう機会をつくって交流をすることはめったにないので、たいへん意義ある1時間でした。とてもおもしろかったです。
- ・名し交換！きちんと一対一で会話することができたから、きねんになるし、きおくにもなる！！ごころうさまでした。
- ・グループ活動であつたので、子どもたちと直接話したりする機会が多くて楽しい時間を過ごすことができました。また、このような機会があつたら、ぜひ参加したいと思います。
- ・普段体験できないことができたので勉強になりました。
- ・大学で学べないことを学べた気がします。
- ・名刺交換がおもしろかった。小学生の夢がきけてよかった。きっかけなども聞けてよかった。
- ・名刺かくところが良かった。
- ・今の子供たちが見えた。
- ・子どもと同じ活動(ゲーム)などをしてコミュニケーションをはかれたことがよかったと思いました。

- ・おとなしい子がいたので、いっしょに楽しめるよう気を使った。
  - ・子ども達の姿、興味があることについて、直接子どもと接しながら見いだすことができたのでよかったです。ぜひ、このような機会を！！ありがとうございました。
  - ・子どもたちとたくさん話せて、今どんな事に興味があるのかなどがわかってとてもよかったです。
  - ・徐々に子どもたちと直に触れ合うこと、話すことができて、よかったと思います。
  - ・子どもたちと直接話したりコミュニケーションがとれてとても楽しく、勉強になる時間でした。いろんな話をきけてよかったです。
  - ・とても有意義な時間となりました。
  - ・小学生のイメージと今回ふれあってみた子どもとが違った気がしました。やはり想像とは違うなあと思いました。
  - ・班に分かれて行つたので、一人一人の子とコミュニケーションをとることができたので良かった。
  - ・子どもたちと一緒にゲームをするという活動は、お互いの間に会話が増え、よかったと思います。
  - ・すごくしっかりと自分の意見や夢を持っている子が多くてびっくりしました。
- (時間をもっと欲しいとの要望 12件)**
- ・時間が短かつたので、もう少し長い時間だったら良かったと思いました。
  - ・比較的スムーズにコミュニケーションがとれました。もっと時間があればと思いました。
  - ・もう少し長い時間子どもたちと触れ合いたかつたです。今日は本当にたのしかつたです。
  - ・とつてもたのしかつたです。もっと時間があつたらなあと思いました。
  - ・時間がやや短いのが残念でした。でも、小学生と触れ合えて楽しかつた。
  - ・時間がもう少し欲しかつたです。そうしたら(アンケートの)①②⑤の評価が5になります。
  - ・もう少し時間を長くしてほしい！！
  - ・もうちょっとくらい時間が長くてよかった。
  - ・もっと話せたらいいなあと思いました。
  - ・時間が足りない。
  - ・もう少し時間がほしかつたです。

- できればもっと長時間の交流をもちたい。もっと話しをしてみたかった。
- (活動の継続・発展の希望 12件)
- 小グループの中で、子どもたちとじっくり交流ができ、本当に楽しませていただきました。希望は、先生を目指す学生がこのように子どもたちと接する機会がもっとあればいいなということです。
  - もう少し交流する時間が長かったらいいなと思う。これを機にもっと交流を深める活動ができればいいなと思う。
  - 最高でした。これからもつづけてほしいです。
  - 複数回交流をもてれば、もっとコミュニケーションできたかと思います。
  - 小学校で子どもと遊ぶことはほとんどないのでこれからも続けられたらいいと思う。
  - 実習が終われば、子どもたちとふれあう機会もほとんどないので、今日はとても楽しかったです。また、こんな機会があればいいと思います。
  - 今日は、本当に楽しかったです。時間が過ぎるのがとても速く感じて終わったときとてもさみしかったです。これきりではなく、また何か一緒に活動がやりたいです。
  - 6年生の子どもたちと交流したり接したりするのは初めてだったので、とても楽しく参加することができました。またこういう機会があるといいです。
  - 今回、子どもたちと楽しくすごすことができたので、また遊びたい。
  - 私の班は楽しくできたが、他のグループはどうだったのだろうか。もっとイイものにしたと思うので、このような場を繰り返して、5年後、10年後にもこの交流があっけてほしい。
  - また機会があればやりたいと思います。
  - とても楽しかったです。こういう機会をもっとたくさん持てたらうれしいです。
- (楽しかったという感想 11件)
- 子ども達と気軽に話すことができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。
  - 必要以上にこっちはしゃいでしまいました。楽しかったです。
  - 子どもたちと楽しく遊べてよかったです。
  - 全部たのしかった。
  - 6年生ということで少し緊張していたのですが、すごく楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。
  - ゲームが楽しかったです。
  - とても楽しかったです。ありがとうございました。

- なかなか小学生と交流する場がないので、とてもよかったです。楽しかったです。
  - とても楽しかったです。
  - ゲームおもしろかったです。
  - とても楽しかったです！受け答えのとてもしっかりした子どもたちでした。
- (不十分な点・今後の課題の指摘 8件)
- 小学生からの質問が少なかったので、あらかじめ質問シートのようなものがあればよかったのではと思いました。楽しかったです。ありがとうございました。
  - もっとお互いにコミュニケーションがとれたら良かった。
  - もう少し時間がとれたらもっと話をしたかったです。
  - もうすこしまく進められたらよかったという反省でいっぱいです。(司会進行の学生)
  - 女の子が一人だけいてちょっとかわいそうだった。
  - 活発な子もいたが、消極的な子もいて、それぞれ違う子を相手にすることが難しかったです。
  - 一緒にグループの男の子がハメを外していて、どう交流すればいいのかが分からず、女子とあまり交流できなかったのが少し残念でした。
  - ねらいがよくわからなかった。

## 5. まとめ

以下、本実践に関してまとめておきたい。

- アンケートの数値や自由記述を見ると、児童と色々話ができ(5点満点中の4.49)、大学生の児童理解が深まった(4.51)ことも伺えた。
- 当日は寒い日であったが、参加者、特に大学生は普通の講義よりも非常に生き生きと活動していた。
- 小学生も大学生にさして違いなく、堂々と話をしていた。(前回、小学生が大学を訪問していて、この大学生と共に授業を受講していたことが、スムーズに、また親密感をもって活動に入れた要因ではないかと、増田教諭は述べられていた。)
- 大学生の作成した名刺にはかなり時間をかけて、また工夫したものがあり、本活動にかける意気込みが感じられた。また、その学生のセンスも伺えた(資料参照)。
- 小学校に自転車で来る大学生が多かったようであるが、このことは予想していなかったため、今後、注意すべき点である。交通面で指示は明確に出しておく必要がある。
- アンケートをみると、多くの者が交流を積極的にできたようであるが、中には上手く

できなかったケースもあり、その点の克服が今後の課題である。

- この活動を1回きりで終わらせるのではなく、どう継続的・発展的にしていくかは重要な課題である。大学生からも今後の実施への希望は非常に高かった(4.84)。
- 本活動は、小学生にとっては総合的な学習の時間であり、その意義を大学生にも実感的に理解させることを狙ったが、アンケートでは4.20と、その理解は思ったよりは高くなかった。従って、その点については事前や事後に補足説明しておく必要がある。
- 増田教諭には、本活動について急に依頼したのであるが、快く引き受けていただき、すぐに6年生担任の先生方との調整や、校長先生や教務の先生の了解を得ていただいた。また、大学生と小学生との打ち合わせの場も設定してもらった。ここに先生に感謝すると同時に、このようなエマージング(緊急)カリキュラムでは、教師の決断力、フットワーク、調整力が成功のカギであることが理解できた。
- 本活動の終了の時に、「もう終わるの、もっとやりたい」という声が小学生からも多く出たと聞いて、小学生にとっても楽しい活動になったことが実感でき、嬉しかった。
- 当日の進行は、ゲームなどにやや時間がかかる面もあったものの、ほぼ時間通りに進み、無理なく終了することができた。増田先生によれば、一学年の児童数の2倍の人数を対象とした活動は教職5年目ぐらいの教師が担当する活動とのことで、色々、課題もあるものの、今回の学生サポーターによる取り組みは適切であったといえよう。

#### 資料(大学生が作成した名刺の例 裏側のみ)

